



2021年10月29日

各位

会社名 中山福株式会社

代表者名 代表取締役社長  
石川 宣博

(コード番号 7442 東証第一部)

問合せ先 常務取締役管理本部長兼グループ事業部長  
兼経営企画部長  
橋本 謹也  
(TEL. 06-6271-5393)

## 2022年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期 第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の連結業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 22,000	百万円 △50	百万円 140	百万円 60	円 銭 3.05
実績値 (B)	21,191	213	399	240	12.26
増減額 (B-A)	△809	263	259	180	
増減率 (%)	△3.7	—	185.6	301.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	23,564	463	659	514	26.18

## 2. 差異の理由

2021年5月13日付で発表いたしました連結業績予想は、主要な販売市場における業界再編等に伴う販売競争・価格競争の激化、新型コロナウイルス感染症の長期化による経済活動の停滞、人件費や物流コストの上昇等を見通して公表いたしました。

売上面におきましては、家庭用品・日用雑貨等を扱う「家庭用品卸売事業」で、ホームセンター業界の再編の影響を受けたこと等により、売上高は211億91百万円となりました。一方で、損益面におきましては、業界再編の影響に加え、原材料高騰による原価率上昇等の影響があったものの、効率的な事業運営を推進し販売管理費の抑制を図ったこと、また「インテリア関連商品事業」では収益性の高い商品の販売が伸長したこと、これらにより、営業利益2億13百万円、経常利益3億99百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億40百万円となりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの実績において前回予想を上回る進捗ですが、販売市場の業界再編の動向や新型コロナウイルス感染症が実態経済に与える影響、原材料価格高騰の影響など、不透明な要因が多いことから、前回発表の予想値を据え置いております。

なお、連結業績に影響を与える見積もりや将来予測等を含め、通期業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

以上